

# フォレスターうじ 会報

緑の募金による苗木を植樹する場所を整備しました。

森林ボランティア フォレスターうじ ホームページ:<https://forester.foresteruji.org>



## 三月定例活動

緑の募金による植樹場所の整備と  
工具等の棚卸し

活動日 三月十七日(日) 曇後雨

活動時間 九時三十分～十五時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員十五名

林会長の挨拶、木曾事務局長の事務連絡、各班の点呼、上田会員の安全十カ条唱和、準備体操と定例の朝礼行事を行った後、林会長が本日の作業予定を説明されて活動を開始した。

午前は、モミジの道入口付近の立ち枯木の除伐・工具等の棚卸・椎茸菌打ちの三班に分かれての活動となった。

立ち枯木の除伐では、林会長が作成された詳細な作業手順書に基づき、チェーンソーで除伐・チルホールと滑車の設置並びに操作・ロープのセッティング・見張り等の担当別に分かれて作業を開始した。除伐場所が京都大作戦の森の防鹿柵ネット付近のため、ネットを取り外してからのためやや手間取ったが、林会長と上田会員のチェーンソー操作が手早く、チルホール担当等とのチームワークも良く立ち枯木を伐倒、玉切りして処理した。午後から雨が降り出し、雨に濡れ乍らも引き続き同場所を除伐作業して、合計八本の高さ三～八m直径十五～四十五cmの殆どクヌギの立ち枯木を除伐した。これでモミジの道入口付近は枯木の倒木の心配も無くなり、京都大作戦の森に光が差し込むことが期待される。

電動工具等の棚卸しは事務局長以下五名で行ない、ほぼ順調に終了した。なお、椎茸菌打ちは次回に持ち越すことになった。

(記 水野 民雄)



3/17 京都大作戦の森 緑の募金による植樹場所の確保のための立ち枯れ木の伐倒整備

写真 右2枚水野民雄 左2枚岡本浩一

## 三月特別活動

太陽が丘・どんぐりプロジェクトの苗木植樹

活動日 三月三日(日) 晴

活動時間 九時三十分～十五時

活動場所 太陽が丘

参加者 会員七名 太陽が丘一名  
植樹参加者十名

北風が冷たく気温が心配されたが、太陽が出てきて過ごしやすい午前中となった。参加者に子どもがいたので、賑やかな活動となった。集合場所から活動場所まで、参加者に手伝ってもらい、苗木や道具を運ぶ。子どもたち四人が力を合わせて、どんぐりの苗木を、お神輿をかつぐかのように、笑いながら楽しく運んでいた。

活動場所まで着くと、皆でスコップやツルハシを使って、穴を掘っていった。木の根や石ころなどが多く、掘りにくい場所は力合わせて掘り進めていった。どんぐりや他の木の苗木を、順番に丁寧に植えていく。最後は、綺麗に土をかぶせて水をやっていった。皆、きつと「早く大きくなれ。」と願いながら、植えたに違いない。植えた後には、新宮副会長手製の竹べらに木や植えた人の名前を思い思いに書き、記念の印として残す。「もつと植えたい」と子どもたちは、何回も苗を取りに来ていた。大人の参加者も、ツルハシを一生懸命振り下ろして、穴を開ける姿も見られた。

植樹後、散策路に大きな木の枝がねじの木に引っかかっていることに気がつき、会員みんなでこれまた力合わせて撤去するよう頑張る。木の枝を使ったり、ロープを使ったり、はたまた、旗の棒を使ったり、四苦八苦しながら、何とか木の枝を撤去することができた。これも、フォレスターうじの活動の一つなんだと改めて実感した。

(追記)

午後は、北口宇治ゲートを入り歩道橋までの正面に

(記 三宅 正晃)

ある法面に山城モデルフォレスト推進協議会を通して緑の募金より提供されたヤマザクラ(約二m×三本)の植樹を行なった。

今回は当会会員の外に太陽が丘職員一名、公園ボランティアをしている一般参加者二名が加わった。穴掘りに杭打ち、水やりにも名札付けと、大変活躍していただいた。大きく育ち、ゲートを開くれば満開の桜が迎えてくれる太陽が丘になることを楽しみにしたいものです。参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。

(記 新宮 邦春)

### 三月臨時活動

緑の募金によるムラサキシキブ等の植樹準備

活動日 三月四日(月)十三時半〜十五時 晴

活動場所 天ヶ瀬森林公園京都大作戦の森

参加者 会員五名 宇治市森林組合一名

宇治市森林組合を通して緑の募金により提供されたウツギやムラサキシキブ七本を京都大作戦の森に仮植えた。五〇cmほどの小さい苗木だが、防鹿対策も行う予定だ。なお、本植えは三月十七日定例活動の時に  
(記 木曾 宗統)



3〜3 太陽が丘 どんぐり苗  
木の植樹 写真 田中一夫



3〜3 太陽が丘 ヤマザクラ  
木の植樹 写真 田中一夫

### 外部行事参加報告

第十三回森林・林業体験ツアーに参加して

見学日時 三月二日(土) 九時〜十五時十五分

見学場所 京都府茶業研究所

宇治市東笠取の森林整備実施箇所

京都大学材鑑調査室

主催者 京都府山城広域振興局

午前九時、山城広域振興局からマイクロバスで出発して、京都府茶業研究所に到着。以前の建物とは比べものにならない立派な研究所が平成二十九年に完成、構造物に京都産木材を使用して木の温もりを感じる素敵な建物になっていた。説明では、京都産木材を使用することで林業の活性化とそれら関わる経済効果が図られたとのこと。

次に、東笠取の山中に移動し、林業家北浦荘平さんから森林整備について「森林では樹木が混み合っているれば木が育たない、間伐が大切」と説明を受けた。最近、間伐した木の利用が減り売れないので「もっぱら孫にトーンポールを作ってやっている、林業経営は大変」とのこと。その後、アクトパル宇治へ移動、昼食休憩となったが小雪がちらつく寒さで、マイクロバスの車内で食事した。

最後は、京大宇治キャンパスの材鑑研究室へ移動。材鑑とは、建築古材の識別や構造・機能等を研究調査の事だそう。法隆寺五重塔の心柱の木片など二万点超の標本が保存されており、標本は何の木か識別できなかつたが、木は大昔から日本ではその材質・特徴を生かして様々なものが作られ利用されてきた事が分かった。研究員の方の説明では、地球上の樹木の本数は二〇一五年で二兆四百億本一人当たり四百本。百五十年先になれば一人当たり百五十本に減少するそう。

今回のツアーでは、樹木を植え・育て・収穫・利用するこの循環を守り、森林を健全保全していく事の大切さを学びました。  
(記 水野 民雄)

### 今後の活動の案内

令和六年五月以降の予定です。

五月定例活動

五月十九日(日) 天ヶ瀬森林公園

・天ヶ瀬森林公園の森林整備

### 会員募集のお知らせ

フォレストアージュはいつでも会員募集中。

まずは一日体験からどうぞ。事務局までご連絡ください。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

### 編集後記

三月の活動日は、別動隊として工具等の棚卸しをした。棚卸しをしなければならぬと思うだけで気が重たい。一、二ヶ月前から三月定例活動日は棚卸しだと呪文のように唱え心も体も態勢を整えていく。一番の問題は工具の名前や用途をあまり詳しくないことだ。

これも仲間たちからいつも言われることだが、「何年フォレストアージュやっての？」とそしてさらに追い打ちをかけるように「それもできないの?」「それも知らないの?」しかし、今日は大ベテランの仲間が四人も一緒だった。仲間と一緒にやっぱり楽しい。あの呪文は知らないうちに溶けてしまっていた。  
(会報担当 木曾 宗統)

### 森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三

